

議会だより

NO.75 2012
8・6

たからほ

〈宮崎県高千穂町議会〉



コケたっちゃイテねーばい!! (上野小・ドロリンピック)

高千穂小を建替え 2

厚生省に研修と要望 7

寄付金でふるさとを応援 4

一般質問に4人登壇 8~9

6月定例会



関係者によるくわ入れ式（高千穂小起工式）

平成24年6月定例会は、6月6日に開会、20日に閉会しました。
 一般会計繰越明許費などの報告2件、専決処分とする条例改正の承認2件、同じく専決処分とする補正予算の承認5件のほか、議案7件、工事請負契約の締結議案4件、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加反対の意見書1件を審査し、全員賛成で原案通り可決しました。
 23年度の一般会計補正予算に1億5128万円増額し、補正後を76億9045万円。24年度補正予算は1379万円増額し、補正後は81億5279万円となりました。

高千穂小を建替え 8億8872万円

高千穂小学校建替への起工式が7月9日に行われました。
 工事は、平成24年5月25年にかけて行われます。
 入札は、指名審査会7人により、宮崎県特定建設工事共同企業体取扱要領、町要綱に基いて、7部門に分けて6月14日に指名競争入札で行われました。

建設主体工事は5億円以上になるため、特Aと地元業者による共同企業体（JV）で11社が参加し、桜木・工藤特定建設

工事共同企業体が6億4417万円で落札しました。
 電気設備工事は7686万円で押方電設(株)、給排水設備工事は5722万円で(株)興洋、空調設備工事は5344万円で押方電設(株)、太陽光設備工事ほか2件の入札は、それぞれ(有)甲斐電工、(株)長田建築企画設計事務所、(株)岩切設計、合計で8億8872万円で落札しました。

※特Aとは、県が評価した特A級業者です。

消防を常備化 一本部一署体制

5月24日に西白杵3町長は、消防常備化に向け左記事項で覚書を交わし合意に達しました。

- ① 3町で一部事務組合を設置し、消防本部及び消防署を設置する。
- ② 常備消防の運用開始は、平成27年4月1日を目標とする。
- ③ 常備消防の体制は、一本部一署体制とする。
- ④ 消防常備化に伴う経費については、西白杵3町で負担する。

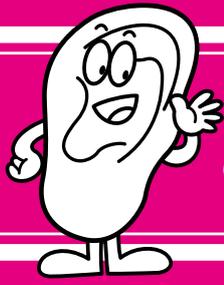
議会報告会 始まる

議会では、与えられた役割と責任を果たすために、平成21年3月に議会基本条例を制定していますが、その中で、町民のみなさんとの接点・意見交換の場として議会報告会を左記の5地区で行っています。

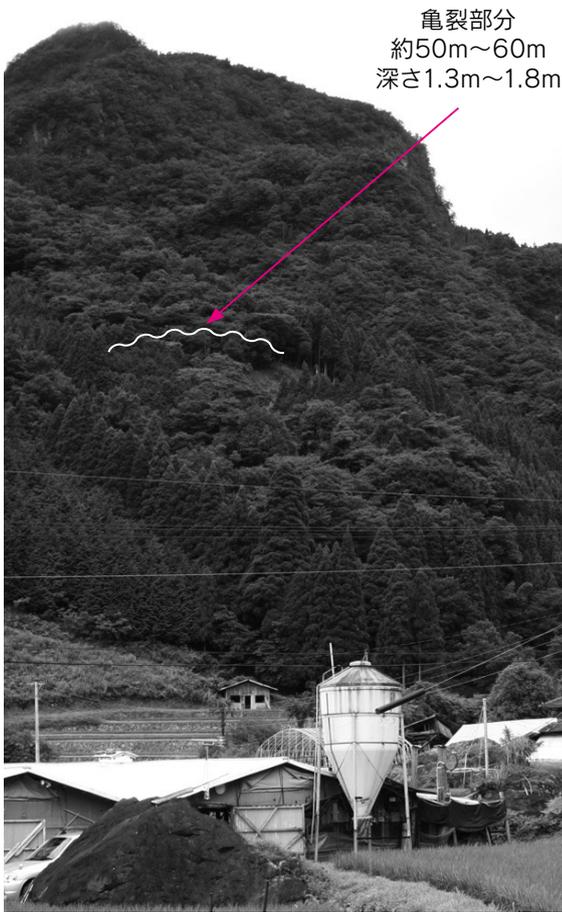
- ◎ 7月3日 押方向山地区
- ◎ 7月3日 田原地区
- ◎ 7月18日 岩戸地区
- ◎ 7月20日 上野地区
- ◎ 7月27日 三田井地区



上野地区



これが聞きてえ〜



亀裂部分
約50m~60m
深さ1.3m~1.8m

早くせんと、ぼくじゃが（土呂久地区）

亀裂調査と安全対策 土呂久地区

質疑 林業施設の委託料464万円の増額は、土呂久地区への緊急性を要する計上か。

答弁 土呂久地区の大きな亀裂調査委託料の補正である。昨年10月に計測器を設置し、変化の推移を見ており、5月末で8・5ミ

リひずみがある。国土交通省の危険数値基準は10ミリ以上であり、今後も亀裂調査を行い、どのような工法でするかを検討する。事業課や消防団など、地域住民と一体となり安全対策を行う。

財政調整 基金の 補正理由

質疑 平成24年度予算が執行されてすぐに、財政調整基金1259万円を増額補正した理由は。

答弁 基金は、職員異動で共済組合へ支払う率が下がり、剰余金を財政調整基金に積み立てる判断をした。

雇用促進 事業の 町内雇用

質疑 緊急雇用促進事業が計上されているが、具体的な雇用内容は。

答弁 事業内容は、高千穂広報支援と不法投棄関連の委託料である。企画観光課が、テレビ高千穂動画の更新と町史編さん作業で3人、町民生活課が、ごみ回収関係で2人の雇用を予定しており、期間は6ヶ月で、町民雇用を考えている。

税の 収納率 向上対策

質疑 昨年度は、税の収納率が向上したが、本年度の対策は。

答弁 税の収納率向上は大変重要な課題である。本年度も徴収体制の充実を図り、電話対応や差し押えなどを行い、税務課一丸となり努力する。



川が汚くなるばい

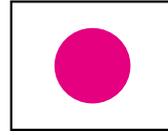
請願
陳情



地方の意見を

聞くノタ

TPP交渉参加に断固反対 意見書を国へ提出



TPP交渉に断固反対する意見書

6月定例会でTPP交渉参加に改めて反対する意見書を提出することとしました。

JAGグループなどが中心になって取り組んだ167万人を超える反対署名や、8割が慎重・反対決議の都道府県・市町村議会、国会議員の過半を超える反対意見を踏まえての提出です。意見書の内容は次のとおりです。

1. わが国政府としての「対処方針」及び関係国との事前協議の内容については、国民へ十分な情報提供を行うとともに、幅広い国民的議論を行うよう措置すること。
2. 政府は「交渉参加ありき」の姿勢を改め、関



係国との協議においては、譲れない点は堅持するとともに、理不尽な要求は断固拒否する姿勢で臨むこと。
また、それがかなわなかった場合には、政府は事前協議を打ち切ること。
以上の内容で意見書を提出しました。

高千穂町税条例の一部改正について

寄附金でふるさとを応援

24年度の税制改正により、東日本震災以降、公益法人に対する寄付について、24年1月1日以降控除することとしました。

内容と目的は、寄付金の窓口を広げ「ふるさと」に対し、貢献または応援したいという思いを実現させることです。

寄付の範囲については県内に主たる事務所を有する法人・団体としています。

国民は震災を経験し特に共に助けあうという互助の気持ちが多く芽生えたように感じます。

寄付金の厚意を高めるためにも今回の条例の一部改正は一步前進といえます。

全員賛成で可決



ありがとうございました

国保税の算出基礎は、所得割、資産割、均等割（人）、平等割（世帯）となっており、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護保険納付金の三つにわかれ、それぞれ率、金額が設定され、世帯に課税されます。

今回の改正は表のとおりです。

国保課税対象2365世帯のうち、7割軽減853世帯・5割軽減195世帯・2割軽減360世帯であり、軽減世帯の合計は1408世帯になります。

保険税の今回の改正は

	一世帯当たり	一人当たり
医療給付費分 (前年度比)	91,301円 (▲948円)	49,627円 (1,489円)
後期高齢者支援金分 (前年度比)	27,776円 (428円)	15,097円 (826円)
介護給付金分 (前年度比)	32,449円 (▲478円)	23,983円 (20円)

今回は、保険税の大幅な引き上げとなることを考慮し、保険準備積立金3億4400万円から1億2000万円を繰り入れ、24年度保険税は小幅な引き上げで抑制されています。

また、医療費抑制の取り組みとして、高額医療費者の方にジェネリック医薬品との差額が分かる資料の配付を行います。

委員会の意見

国保税の税額は町民生活に直結しており、今後は福祉保険課の医療分析をもとに、町立病院や保健福祉総合センターなど関係機関が連携を取って協議を行い、各種の保険事業や予防事業に積極的な展開を図ること。

国保税特別会計の健全化と税額の抑制に努力されることを強く要望しました。

全員賛成で可決

保険税会計の健全化に努力を



頑張ってる～（老人クラブ運動会）

高千穂町をPR

東日本高千穂会



神楽がなつかしいのー

4月22日、首都圏在住の高千穂出身者でつくる東日本高千穂会（会長・興梠三男氏・芝原出身）の第7回総会に出席しました。

総会には220人ほどの出席があり、出身地区別に三田井・押方・向山・岩戸・上野・田原とテールブルが分けてありました。押方の山附地区神楽保存会による神楽舞や刈干切唄などの披露があり「ふるさと」の絆を再確認する会となりました。

会の冒頭で興梠会長から「大都市東京の巨大市場を大いに活用し、官民が一体となって物産のPRや観光振興に心を一つにして頑張っていきたい」との挨拶がありました。

東日本高千穂会が高千穂町の産業振興のために一丸となって支援していただいています。

大震災

言葉が見つからない

宮城県仙台市の被災状況調査のために23日、同市宮城野地区を視察しましたが、その被災現場は言葉が見つからないほどひどいものでした。

2000棟あった家屋は基礎だけを残して跡形もなく、テレビで見た小学校の1階部分は骨組みだけを残し、校庭には自動車・バイク・家庭用品・その他たくさんのがれき

が野積みしてあり、津波の恐怖を実感しました。案内人の方から「水が引いた後、そこに1000人ほどの遺体がありました。向こうにも1000人以上の遺体がありました」との説明を聞き、その光景を想像しました。また、被災者の仮設住宅も視察させていただきましたが、天井は低く狭くて暗く、今、自分たちが不自由なく生活できる

が野積みしてあり、津波の恐怖を実感しました。案内人の方から「水が引いた後、そこに1000人ほどの遺体がありました。向こうにも1000人以上の遺体がありました」との説明を聞き、その光景を想像しました。また、被災者の仮設住宅も視察させていただきましたが、天井は低く狭くて暗く、今、自分たちが不自由なく生活できる



なんにもねえが

防衛大学校を訪問



24日には防衛大学校を訪問し、大学の教育方針と日本国防への果たすべき役割について調査研修を行いました。

施設の面積は約65万平方メートル（東京ドーム14・5個分）で45の施設があります。

大学の方針は、規律ある団体生活及び学生の自発的活動において心身を鍛え、徳操（堅固で変わらない志）を磨き、人格の陶冶（生まれつきの性質や才能を円満に育て上げる）に努めています。

また、自主自立・積極敢為（反対や障害に屈せず）に押し切つてやり通すこと）の気風を養い、国家及び社会の一員として必要なり一般教養・基礎となる学力及び技能



えらいな広さばい

東日本大震災では亡くなられた方々の遺体収容をはじめ多くの任務を遂行されました。

「災害発生においては県・市町村とも日頃からの連携が必要であり、呼んでいただければ必ず3倍〜4倍の力になるので自衛隊を是非使ってください」との言葉を聞き、頼もしく感じました。

調査報告

厚生省に
研修と要望

国民健康保険制度と介護保険法の現状と課題について、厚生労働省・国税)の収納率が低下して保課長補佐及び介護主任に研修を受けました。

- ① 医療と介護の連携強化
- ② 介護人材の確保とサービスの向上。
- ③ 高齢者の住まいの整備。
- ④ 認知症対策の推進。
- ⑤ 保険料上昇の緩和などの改正する概要の説明をうけました。

- ① 各福祉サービス設置などで24時間巡回サービスが出来る。
 - ② 小規模多機能型事業所の増設。
 - ③ 介護士でもタンの吸引ができる。
- 市町村国保の抱える構造的な問題は、年齢構成、医療費水準が高い・所得

水準が低い・保険料負担が多いなどで、保険料(税)の収納率が低下しています。

保険者支援制度の概要は、保険料軽減の対象となる低所得者数に応じて、平均保険料の一定割合を保険者に対して国が財政支援をします。

高学医療費共同事業の概要は、一定額以上(一件80万円超)の高額医療費について、都道府県の全市町村が拠出し、各市町村の単年度の負担の変動を緩和します。

意見の交換

問 国保準備基金がなくなる市町村に対して、どのような対策を考えているのか。

答 今回の税制改正で財源確保が出来れば、平成

27年10月には国保に2200億円の公費を追加する。今後の医療費増加を見込み、国と地方の協議を継続的に議論して、対策を考える。

その他、医師不足・医療と介護の連携強化・介護職員の処遇改善など、地域の課題についての要望を行い有意義な研修ができました。



現状をぶつける！(衆議院会館)

子育てを地域ぐるみで支援

—宮城県仙台市—

調査報告

は、仙台市に在住し、20歳以上の健康で自宅で安全に子どもを預かることが出来る方と両方を兼る方です。

協力会員・両方会員の方は、面接と講習会を受講していただき、会員になると安心して活動ができるよう、損害補償制度が適用され保険料は市が負担します。

平成23年度会員数は、利用会員2639人、協力会員404人、両方会員123人で合計3166人です。

利用目的は学童・保育所・幼稚園児・子どもの習い事の送迎・預かりと保護者の外出等であり、年間利用件数は6737件になります。

仙台のびすく事業

仙台市子育てふれあいプラザが市内に3施設あり、各館の場所はビルのショールーム・図書館等に市が設置し、運営は指定管理者制度を活用して行っています。

利用会員は、仙台市在住で、概ね生後2ヶ月から小学校6年生までの子どもがいる方、協力会員



利用は1日100組げな(のびすく仙台)

施設内には、「こどもひろば」・「赤ちゃんひろば」・「ふれあいひろば」があり、無料で利用できます。

託児室は1時間600円でスタッフが預かっており、情報コーナーでは様々な子育て情報を提供し、閲覧用のパソコンもあります。

少子化、核家族化が進み、近所付き合いも希薄になる中で、ひとり子育てを抱え込んでおられる方に、地域ぐるみの子育て支援活動を行う事が重要です。



飯干清喜議員

業者に建物保障を

町長 事業に多大な影響が出る

問 本町で過去に建物あ設された大きな建物のほとんどで、築後10〜20年の間に雨漏りやひび割れなどが生じている。入札後、建物受注業者、施行管理業者に対して、最低20年ほどの建物保障を求めることはできないか。

どおり契約を行っている。損害請求は瑕疵の場合2年以内となっており、大きな過失や故意の過失が判明した場合は10年となっている。

契約要綱に長期の保障を要件として追加することになれば、保障を約束できる業者に限られ、事業に多大な影響がでるとが懸念される。

問 過去に欠陥や不都合が生じた建物では、本町自体も建物管理ができていなかったことが原因と思われる。毎日工事の進捗状況を確認できる管理担当者の設置も必要ではないか。

技術の職員を監督員として下命し、事業の推進に努めている。

町長 最低制限価格を算ベースを大きく割り込む結果にはなっていない。

問 今回多くの町外大手業者が入札に参加されているが、町外主導のJVの組み方や、最低入札ラインの幅が、事業取得のためのダンピングにつながり、それが仕事に影響して雨漏りなどの要因となっていないか。

最低制限価格を導入しており、採算ベースを大きく割り込む結果にはなっていない。



高千穂小建設予定地

町長 本町で定めた約款に基づき、法令

問 少子・高齢化と過疎化や、社会環境などの変化により、地域に必要な消防団員の確保に苦慮されているのは全国的な傾向である。そのような中、地域の安心・安全を守る組織として「自主防災組織」が設置されている地域がある。



工藤博志議員

自主防災組織の充実を

町長 18公民館に設置

地域の防災体制の充実を図るとともに、住民の幅広い層から消防団員の確保が可能になることから、本町が積極的に取り組むべき課題と考え、次の三点について問う。

問 組織に対する支援の状況は。

町長 防災活動用のヘルメットを贈呈し、消防法の規定に基づいた公務災害補償の対象者として、共済加入している。

問 経済団体の事業所との協力的体制は。

町長 平成18年に浅ヶ部公民館に設置さ



いざという時にそなえて（下川登地区防災訓練）

町長 農協、森林組合、郵便局などの事業所では、消防活動について理解と協力をいただき、職員がそれぞれの地区の消防団に加入して、日中の消防活動にも従事している。



すべてがゴミ分ければ資源（ゴミ分別作業）



佐藤節生議員

ごみ減量対策と収集について

町長 効果など検証し導入検討

問 ごみ減量化に向けて、町民が排出を減らし、再生利用を推進していく、循環型社会の構築が必要と考える。

「捨てればごみ、分ければ資源」、町全体で減量化に取り組むことがごみ収集減にも繋がる。

次の三点について問う。

家庭から出るごみを有効利用し、減量化を図る目的で生ごみ処理機を購入した家庭に補助の考えはないか。

町長 生ごみ処理機の管理などの問題で普及が進んでいない状況であり、今後処理機の効果など検証し、補助の導入を検討する。

問 ごみの最終処分場不足の対応について

町長 新たな処分場の整備は、用地確保など難しい面がある。将来的には郡内に処分場を整備する必要があると思うが、衛生組合で候

問 補地の検討をする時期に考えているか。

問 ごみ袋は「価格が高いのでは」と町民からよく聞かれるが、ごみ袋の価格の見直しはできないか。

町長 ごみ処理費は「税金」と「ごみ袋の収入」で成り立っている。今後、減量化が進み処理費用が減れば、減額も考えられるが、現状での価格の見直しは難しい。

町長 農業従事者の高齢化、担い手・後継者不足など厳しい状況の中で、農業機械購入に大きな負担を強いられている。今後は地域や集落で共同利用組織、作業受託、集団栽培など、効率的な支援を行いたい。



こげんとかほしいのお

大型農業機械の購入支援は

町長 効率的な支援を行う

問 農家生産は、米・牛・園芸などによる複合経営である。

現在、畜産農家の機械購入は補助金により、経営安定化が図られているが、農家生産額減少の中、米・園芸などの機械購入支援は考えられないか。



馬原英治議員

町長 農業従事者の高齢化、担い手・後継者不足など厳しい状況の中で、農業機械購入に大きな負担を強いられている。今後は地域や集落で共同利用組織、作業受託、集団栽培など、効率的な支援を行いたい。

町長 田畑の総合整備対策について補助率の高い事業に取り組む

問 農業生産者の高齢化に伴い、田畑の維持が困難な状況である。今後は、面積の小さな

町長 圃場を総合的に整備し、安全に作業ができ生産性の向上につながる支援対策が必要ではないか。

町長 現状は厳しく、中山間地特有の農地の悪さも要因の一つである。農業体質強化基盤整備促進事業やがんばる農家収益向上整備事業など補助率の高い事業を、集落や協同体を中心に、積極的に取り組んでいきたい。

今後は、面積の小さな

シリーズ

走舗

● 奈須総合スーパー(資) ●

新高千穂大橋の近くに
奈須総合スーパー(資)
はあります。

初代の奈須捷行^{たけゆき}さんは
明治40年農家に生まれ、
墓石屋で働いた後、田畑
を売って資金を作り、昭
和27年に押方の旧国道沿
いに奈須商店を開業され
ました。

当時の人口は増加傾向
(2代目の徳雄さん(73
歳)は、20歳から大阪梅

田で5年間修行をし、家
業を継がれました。
徳雄さんは下野出身の
久美子さんと結婚されて、
この店で何でも揃うスー
パーを築き上げられまし
た。

三代目の秀徳さん(43
歳)は、3人の子供の、
父親であり妻の美保さん
と二代目の両親を助けな
がら商売に励んでいます。
秀徳さんは鮮魚などを
担当され、毎朝5時から
延岡市場へ仕入れに行か
れ、お客様においしくて
新鮮なさしみを提供して
います。

将来、人口減少が一番
商売にひびくと不安がら
れており、人口減少に歯
止めとなるような対策を
してほしいと言われてい
ます。

今後もお客様が寄りや
すく、安心安全な品を揃
えて現状を守っていきたく
いと話されました。

近い将来3人のお子さ
んの中から四代目が誕生
することを願っています。



初代捷行さん 妻イキヨさん



左から
久美子さん、徳雄さん、安在正美さん、
秀徳さん、美保さん



現在の店舗

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は9月3日開会予定です。

傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL73-1219

(議会事務局直通)

編集後記

第12回ドリリンピックが
上野小5年生を対象に開催
されました。

児童も大人も頭から泥ま
みれになり全力で競技する
姿はダイナミックでした。
競技者に感想を聞くと、
最初は抵抗があったけど田
んぼの中は思っていたより
気持ちが良いと言われまし
た。

競技終了後に全員で田植
えを行いました。
稲は時に自然と闘い成長
します。

児童も、これから色々な
ことを勉強し、たくましい
大人になるために、地域ぐ
るみで育てることが大切だ
と思います。

(S.T)

発行責任者

議長 富 高 健一郎

議会報編集委員会

- 委員長 奈 須 克 喜
- 副委員長 佐 藤 久 生
- 委員 富 高 友 子
- 委員 戸 高 清 次
- 委員 坂 本 弘 明
- 委員 馬 原 英 治

高千穂町議会広報

発行・高千穂町議会
編集・議会報編集委員会

〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13
TEL(0982)73-1219

高千穂町のホームページもぜひご覧ください。 <http://www.town-takachiho.jp/>

議会だより たかちほ No.75